

開倫塾で「効果の上がる学習方法」をマスター！

—「学校成績(校内順位)大幅アップ」「3大検定合格」「第一志望校合格」を実現しよう！—

開倫塾

塾長 林明夫

(開倫塾日本語学校校長)

(開倫ユネスコ協会会長)

〇はじめに

(1)開倫塾では、年間を通して「効果の上がる学習方法」を、塾長、校長、先生方が、塾生・保護者・地域社会の皆様へ、折に触れ、様々な機会に、お伝え続けております。

(2)開倫塾の塾生である間に、「学校成績(校内順位)大幅アップ」「学年相応級以上の、3大検定合格」「トップ校・難関校を含め、第一希望校合格」少しでも多く、「効果の上がる学習方法」を身に付け、学校生活を充実させてください。

(3)お読みになりやすいように、QandAの形にさせていただきます。よろしくお願いいたします。

<開倫塾、塾生目標(I)(II)(III)>

Q1:開倫塾の「塾生目標」は何ですか。

A:3つあります。

(I)「学校成績(校内順位)大幅アップ」

(II)「学年相応級以上の3大検定合格」

(III)「トップ校・難関校を含む第一志望校合格」

この3つです。

積小為大です。この(I)(II)(III)の順序で、しっかり勉強を積み重ねましょう。

〇開倫塾では「積小為大(せきしょうだい)」、つまり、「小さなことを、コツコツ、積み上げ、大をなす。志を為(な)し遂げる」という、二宮尊徳の教えを大切に考えます。

<開倫塾、塾生目標(I)>

Q2:それではお聞きします。開倫塾、塾生目標(I)の「学校成績(校内順位)大幅アップ」のためには、どうしたらよいのですか。

A:「学校成績(校内順位)大幅アップ」のために大切なことは、

(1)できるだけ早めに、「定期試験」の準備をスタート。

(2)「定期試験」で「全教科」、よい点数、できれば、「100点満点」を目指すことです。

(3)また、各教科の「提出物」を、きちんと準備したうえで、期限内に提出することが欠かせません。

<定期試験で100点満点を取るには>

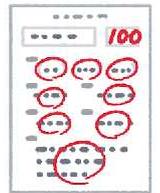
Q3:「学校の定期試験で、全教科100点満点を目指す」には、どうしたらよいですか。

A:(1)すべての教科の、「学校教科書をスミからスミまで覚える」ことです。

(2)ただし、「覚える前」に、学校教科書に書いてある内容を、しっかり「理解」することが大切です。

(3)まずは、教科書の内容を、しっかり「理解」する。「覚える」のは、「理解」した後と考えます。

〇「覚える」ことは「身に着ける」ことですので、開倫塾では、「定着」させると呼びます。



<しっかり「理解」するには>

Q4:しっかり「理解」するには、どうしたらよいですか。

A:(1)「授業」の前に、たとえ5分~10分でもOKですから、その日に学ぶ内容について、どんなことを学ぶのか知ること、つまり、「予習」をすることです。

(2)できれば、「予習をして、何がわからないかをはっきりさせてから、授業に臨む」ことです。

(3)「予習」とは、「何がわからないかをはっ

きりさせて、授業に臨むために行うもの」です。

<「授業」に臨む態度とは>

Q 5 : 「授業」ではどうしたらよいですか。

A : (1) 「授業」で一番何大切なのは、真剣に先生のお話をお聴きすることです。

(2)そして、今、学んでいることは、どのようなことかを知り、考えることです。学んでいることを「理解」することです。

(3)「理解」とは、「これはこのようなことだったのか」と「納得」「腑に落ちる」ことをいいます。

○「授業」では、「なぜこれはこうなるのか、こう考えるのか」を含め、「理解」することを目指しましょう。

<授業中、「ノート」は取るべきか>

Q 6 : 授業中、ノートは取った方がよいのですか。

A : (1)はい、その通りです。「大切なこと」は、「全部、ノートに取る」ことです。

(2)「大切なことを、ノートに取れること」は、極めて高い、「言語能力」です。「英語やフランス語、スペイン語の授業などすべての外国語の授業で、大切なことをノートに取れるか」と聞かれて、「ハイとれます」と自信をもって答えられる人は、多くないと思います。

(3)授業中、大切なことを、ノートに取れるようになることを、ぜひ目指してくださいね。

<仕事は「メモ」で身に着ける>

○<ご参考>

(1)学校を卒業後、社会に出て、仕事や社会的活動、日々の生活をするとともに、大切なことは、必ず「メモ」を取る。

(2)そして、その「メモ」を、後で整理し、見直し、仕事や様々な活動を行うことが求められます。「仕事はメモで行う」といわれるくらい、「メモ」を取ることと、「メモ」の整理、「メモ」の活用は大切です。

○「仕事はメモで身に着ける」という「名言」があるほどです。

(3)学校時代に、「先生方の授業で大切なことは、必ずノートに取り、そのノートを整理、活用して、学力向上に役立てる」ことは、「社会に出てからの準備運動」として、とても大切です。

○学校時代に、授業中、大切なことがノートに取れない人は、社会に出たからといって、急に、メモが取れるようになるとは、考えられないからです。



<授業後は、必ず「復習」を！>

Q 7 : 授業後、「復習」はした方がよいのですか。「復習」は、どのように行えばよいのですか。

A : (1)学校の授業、開倫塾の授業を含め、授業の後は、必ず「復習」をすることを、「学習習慣」にしましょう。

(2)「復習」とは、「学んだことを、もう一度、学び直すこと」。

(3)<具体的には>

①「教科書」「授業ノート」「教材」をもう一度、「声を出して読み直す」。

②「計算や問題は、もう一度、やってみる」。これが、一番簡単な「復習」です。

③「これは、一体どういうことなのか」、「なぜこのように考えるのか」、「なぜこのような解答になるのか」考える。

④よく意味のわからない語句があったら、「辞書」や「用語集」「インターネット」を用いて調べる。調べた内容は、教科書やノートなどに書き写し、その場で覚える。これも大切な「復習」です。

○このような手順で「予習」をし、「授業」を受け、「復習」をすると、「学んだ内容」の「理解」が「深まる」と考えます。

<「復習」の後は、必ず「定着」を！>

Q 8 : 「復習」をした後、した方がよいことは何ですか。

A : (1)「定着」です。「定着」とは、学んだことを「覚えること」「身に着ける」ことです。

(2)「予習」「授業」「復習」をして、学んだことを「理解」したら、しっかり「覚え」「定着」させましょう。

(3)なぜ「定着」が大切なのか。

「うん、なるほど」とよく「理解」しても、「覚えていない」「忘れてしまう」と、「定期テスト」や「実力試験」、「3大検定」「模擬試験」「入学試験」など「試験」で「よい点数」が取れないからです。「社会で役立てることができないから」です。



<「定着のための3大練習」を>

Q 9 : どのように、学んだことを「覚える」「定着」させたらよいのですか。

A : 開倫塾でおすすめてしているのは、「定着のための3大練習」です。次の3つの練習をして、「定着」を目指すことです。

(1) <「音読練習」を!>

- ①練習の第一は、「音読練習」です。
- ②大きな声を出し、スラスラよく読めるようになるまで、読む。
- ③「学校の教科書や教材」「開倫塾のテキストや教材」「家庭学習の教材」「一度解いた、すべてのテスト問題の本文や解説解答」を、「大きな声を出して、スラスラよく読めるようになるまで、読む練習」をする。
- ④そして、大切な内容は、何も見ないで、いえるまでにする。これを、「暗唱」といいます。「暗唱」を目指してくださいね。



(2) <「書き取り練習」を!>

- ①練習の第二は、「書き取り練習」です。
- ②「書き順も含め、美しい文字で、正確に、書けるようになるまで、書く練習」をする。これが「書き取り練習」です。
- ③大切な内容は、何も見ないで、書けるようにする。これを、「暗記」といいます。
- ④一章ごと、何も見ないで書けるようにすることを、「暗写」といいます。「100点満点」を目指すのなら、「暗記」「暗写」を目指しましょう。

(3) <「計算・問題練習」を!>

- ①練習の第三は、「計算・問題練習」です。
- ②一度解いた問題で、なぜそのような解答になるのか、その「考え方」や「理由」が「うなるほど」と「納得」「理解」できた「計算・問題」は、「計算・問題」を見た瞬間に、条件反射で正解が出るまで、何回も「解く練習」をする。

③これが、「計算・問題練習」です。

○テストで「条件反射」で正解が出てくるようになれば、応用問題や、初めての問題、考えさせる問題、複雑な問題を、「時間をかけて解く」ことができます。「テスト時間内に、すべての問題を解く」ことができるようになります。



「定着のための3大練習は、不可能を可能にする」

<「応用」を!>

Q 10 : 「予習」「授業」「復習」「定着」のあとにやった方がよいことがありますか。

A : あります。それは、「応用」です。「応用力」を身に着けることで



(1) <「応用」とは>

開倫塾では、「応用」とは、「テストでよい点数を取ることができること」、「社会で役立てることができること」と考えます。

(2) <「応用」とは「テストでよい点数」を取ること>

- ①「テストでよい点数」を取るために欠かせないのは、「過去に出題された問題（過去問）」「予想問題」を「数年分」、「何回も解く」ことです。
 - ②「解き終わったら、間違えた問題について、誤答分析」。なぜ間違えたのか、その理由を自分の力で考える。
 - ③知識不足なら、わからないところまで遡り、勉強し直す。
- 「ケアレスミス」を防ぐには、問題文や、設問を2～3回読み直すこと、計算や問題を解き直すことが、有効です。

(3) <「応用」とは、「社会で役立てる」こと>

- ①社会で役立てるためには、社会に出てからも、学校で学んだことを「学び直す」ことが大切です。
- ②今、学校で学んでいることは、すべて役に立ちます。次の学年で役に立ちます。小学校の内容は中学校で、中学校の内容は高校で、高校の内容は大学や専門学校などですべて役に立ちます。小学校・中学校・高校・大学・専門学校で学ぶ内容は、社会でも、全部役に立ちます。仕事、社会的活動、日常生活、よく生きるために、全部役に立ちます。一生役に立ちます。<学校教科書・開倫塾テキストは、学校卒業後処分しないこと>



③「上級学年」「上級学校」「社会」で役立てるために大切なことは、学校教科書・教材、開倫塾テキスト・教材、授業ノート、辞書、地図帳、年表を、その学年が終わった後や、学校を卒業後に処分しないで、大切にしておくことです。そして、折に触れて読み直す。一生かけて読み直すことです。



<開倫塾、塾生目標(Ⅱ)>

Q 11: 塾生目標 (Ⅱ)「学年相応級以上の3大検定合格」のためには、どうしたらよいのですか。

<「3大検定」とは>

A : (1)①開倫塾では、「英語検定」「漢字検定」「数学・算数検定」の3つの検定を、大切なものと考え、「3大検定」と呼んでいます。

②「3大検定」の各々は、小学生、中学生、高校生の各学年にふさわしい、「学年相応級」が示されています。

③そこで、開倫塾では、塾生目標(Ⅱ)として、塾生全員、「学年相応級以上の3大検定合格」を目指しています。

○開倫塾は、「英語検定」、「漢字検定」、「数学・算数検定」、各々の、「準試験会場」となっております。「3大検定」の多くの級を、開倫塾で受験できます。

(2)<「塾生別・3大検定受験年間予定表」の作成と活用を>

①開倫塾では、「塾生別・3大検定受験年間予定表」を、塾生・保護者・開倫塾の先生が、お話し合いになり作成。

②早め、早めの準備により、毎年、3大検定の各々を、1つの級以上取得することを、目指しています。

③開倫塾の先生と十分話し合い、3大検定の対策講座を、年間を通じて受講、計画的に「3大検定を取得」。学校成績向上、第一志望校合格、ご自身のキャリア形成に、お役立ていただきたく希望します。

(3)<「3大検定」、合格のポイント>

①合格のポイントは、テキストの「予習」、対策講座を受講し「授業」にしっかり参加、授業後の「復習」をしっかりと行う。

②そのうえで、テキストや一度解いた問題を用いて「定着のための3大練習」、つまり、「音読練習」、「書き取り練習」「計算・問題練習」で、自分のものとして、しっかり身につける(定着させる)ことです。

③「予習」「授業」「復習」「定着」を活用、「深い理解」を目指すことです。

○「深い理解」とは、3大検定の勉強で学んだことを、「自分のことばでいえる(表現・説明できる)こと」です。「3大検定」の勉強でも「深い理解」を目指しましょう。

<開倫塾、塾生目標(Ⅲ)>

Q 12: 開倫塾、塾生目標 (Ⅲ)「トップ校・難関校を含む第一志望校合格」のために、何を、どうしたらよいですか。

A : (1)<「受験生としての自覚」を持つ>

①「私立中学校受験」「公立中高一貫校受験」「高校受験」「大学受験」など、入学試験の勉強で一番大切なことは、「受験生としての自覚」を持って学ぶことです。1日も早く、「受験勉強をスタート」することです。

②「自分は、～校という学校を受験する」「受験生」としての自覚をしっかり持ち、一日、一日を大切に過ごすことです。

③「受験生としての自覚」を持ち、「学習の方法を工夫する」、「学習の時間を増やす(眠る時間以外は受験勉強)」ことです。

(2)<「学習習慣」を身につける>

①「受験勉強」で二番目に大切なことは、「学習習慣」を身につけることです。

②「自分から進んで学ぶ」「主体的に学ぶ」「自己学習能力」を身につける。

③多くの受験生が、受験直前、「眠る時間以外、受験勉強に集中」します。

○この受験直前と同じ態度での受験勉強を、受験1年前、半年前、3か月前など、気が付いた時から、「受験生としての自覚」を持って、1日も早く、スタートすることです。

(3)<「深い理解」を目指す>

①受験勉強でも大切なことは、開倫塾のテキスト、教材、問題集、業者模試などすべての教材の、「予習」「授業」「復習」「定着」を最大活用し、「深い理解」を目指すことです。

②学校や開倫塾、自学自習などで「一度学んだ内容」、「一度解いた問題(模試、過去問、予想問題など、一度解いたすべての問題)」について、「予習」「授業」「復習」「定着」を活用し、「深い理解」、つまり、「自分のことばでいえる(表現・説明できる)」ことを目指すことです。

③学んだことや、一度解いた問題のすべてについて、「自分のことばでいえる(表現・説明できる)」ようになれば、医学部医学

科、東大、東京科学大、慶大。早大など難関大学、難関高校、難関中学などトップ校・難関校を含め、すべての第一志望校に合格できます。



<「読解力」は欠かせない>

Q 13: 「読解力」は、大切なのですか。

A : (1) はい、大切です。極めて大切です。「読解力」なくして、「学力向上なし」です。

①「開倫塾、塾生目標 (I) (II) (III) の実現」には、「読解力」が不可欠です。

②「試験時間内に、様々な情報を含む試験問題を、正確に、また、分析的に、読み解き、正解を導き出す力」、これが、ここでいう「読解力」です。

③ここでいう「読解力」が不足すると、「試験時間内」に、「試験問題」を解き終わることができず、よい点数、合格点を取ることが難しいことは、明白です。

○明白ですが、「読解力」の重要性に気付かず、「受験勉強」を進める受験生が大半です。

○「読解力」が不足している受験生は、「全教科の出題内容の勉強」と同時並行して、「読解力を育てる取り組み」を、「作戦を立て」「戦略的に」行うことが求められます。

(2) <「読解力」を身に着けるには>

では、どうしたら「読解力」が確実に身に着くのか。開倫塾では、「辞書」「新聞」「読書」「図書館 (学校図書館・公共図書館)」の徹底活用を、全塾生におすすめています。(すべての「学校」や「地域」の「教育レベルを大幅に向上」させるにも、この4つは極めて重要)

(3) <「辞書」の活用を!>

「辞書」の活用：意味のよくわからない語句に出会ったら、「気持ちが悪い」と考え、「辞書」を用いてその意味を調べる。「辞書で調べた内容」は、「意味調べノート」に書き写し、その場で覚える。

○「漢字」には「フリガナ」、「英単語」には「発音記号」を書き写す。

○「辞書」を毎日、使いこなし、「ことばの数」を増やす。「ことばは力」「知っていることばの多さは力」「語彙力は力」。

(4) <「新聞」の活用を!>

「新聞」の活用：毎日、30分以上、新聞を「第一面」から、「なめる」ように読む。「新聞」を読み、世の中の出来事、世の中の動きを知る。興味のある記事は、「スクラップブック」に貼り付け、意見や感想を書く。

○「新聞」を毎日読み続け、「批判的思考 (クリティカル・シンキング) 能力」と「自分で考える力」を身に着ける。

(5) <「読書」の活用を!>

「読書」の活用：毎日、30分以上、読書を。「本」を読み、「著者との時空を超えた対話」を行い、「深く考える力」「思慮深さ」「省察力」「自省心」を養う。気に入った語句や文章に出会ったら、「書き抜き読書ノート」に書き写し、折に触れ、読み直し、「暗唱」。ものごとの見方、考え方の「指針 (コンパス・羅針盤)」とする。

(6) <「図書館 (学校図書館・公共図書館)」の活用を!>

「図書館」の活用：学校に行っている日は、毎日、「学校図書館」に行こう。近くの「公共図書館」には、毎週、毎月、数回は出かけよう。「図書館」で「辞書」「新聞」「読書」に親しもう。「調べ学習」「探求型学習」は図書館を中心に行おう。「図書館」を自分の居場所の一つにしよう。

○大学生、大学院生になったら、「大学図書館」を自分の居場所にしよう。「大学図書館は、大学の学問的中心地」。

Q 14: 高校卒業生の約9割が、4年制大学や専門学校に進学するようですね。

A : (1) はい。高校生の進学率が、じりじり上昇しています。

①現在、高校卒業生の約6割が「4年制大学に進学 (浪人生も含め)」、約3割が「短期大学」「専門学校」「専修学校」に進学しています。

②高校卒業後、約9割が、「高等教育機関 (大学、短期大学、専門学校、専修学校をまとめて、「高等教育機関」と呼びます)」に進学しています。

③この割合は、今後も増え続け、高校卒業生の9割以上が高等教育機関に進学する時代が、日本にも到来しつつあるといえます。

(2)①一方、18歳人口が減り続けているため、今まで入学が難しかった4年制大学や専門学校も、受験者数が減少。

②そのため、高校時代に、きちんと全教科学習し、定期試験でよい点数を取り、3大検定に合格し、ボランティア活動や、社会的活動を含め、教科外活動に励む高校生活を送っていれば、多くの4年制大学や専門学校で、入学が可能になりました。



③従来、実業高校と呼ばれていた「専門高校」で学ぶ高校生も含め、高校生の9割以上が、「4年生大学」「短期大学」「専門学校」「専修学校」で学ぶ時代に突入したといえます。

○ただし、大学や専門学校は、今まで以上に、勉強内容が難しく、授業は、すべて、レベルが高く、高校卒業の知識を前提に行われ、また、専門的になっています。

・大学では、1回90分の授業につき、4時間30分の予習や復習が義務づけられています。

・高校の全教科を、しっかり学んで高校を卒業することが求められます。



(3)①開倫塾では、中学校を卒業したすべての塾生の皆様が、「開倫塾予備校」「開倫塾全校舎で開講の開倫塾高校部」に継続なさり、高校3年間の勉強を、中学生の時と同様に、開倫塾で行い、「定期試験対策」「3大検定対策」「第一志望校合格のための受験勉強」を、開倫塾で行うことをおすすめいたします。

②2025年度は、これまでの「セミナー授業」「個別指導」をさらに充実させます。

③これに加え、駿台予備校と提携した「駿台ダイバース」、「ブロードバンド予備校」、通信制高校「慶風高校」サポート校（週2回通塾・1回50分）もあります。

○高校生になっても、開倫塾を大いに活用ください。

Q 15：最後に一言どうぞ。

A：ここまで、長い文章をお読みいただきありがとうございました。開倫塾の基本的な考えをご理解いただき、開倫塾を、最大限、ご活用いただきたい。そして、「開倫塾、教育目標（Ⅰ）（Ⅱ）（Ⅲ）」を、塾生、保護者、先生方が、手を携え、一致協力して実現していきたいと存じます。どうかよろしくをお願いいたします。

<まとめ>

(1)開倫塾は、「効果の上がる学習法」を、一年間、折に触れ、塾生・保護者・地域社会の皆様にお伝えし、「塾生の成功の実現」「地域の教育力向上」に役立てていただきたく考えています。

(2)「成功の実現」とは、塾生はじめ皆様が「多様な選択肢のある人生を歩む」ことと考えます。

(3)「地域の教育力向上」の結果、「持続可能な社会の発展」「正常に機能する社会の発展」を担う人材の育成が可能と考えます。開倫塾は、地域の将来を支える、地域人材の育成に励みます。

○開倫塾は、「定期試験前日」「3大検定前日」「入学試験前日」まで、

①毎日のように、連日、「拡大直前特訓」を実施。

②塾の授業のある日もない日も、毎日、午後から、夜10時30分（東京は10時）まで「自学自習を奨励」。「開倫塾、塾生目標（Ⅰ）（Ⅱ）（Ⅲ）」を実現します。

③開倫塾を最大活用し、3つの塾生目標を実現しましょう。

◇CRT ラジオ栃木放送「開倫塾の時間、林明夫の歩きながら考える」は、社会人を含め効果の上がる学習方法をお伝えする番組です。今年3月で39年目に入ります。是非お聴きください。